

報道関係者 各位

2014年7月3日

日本初公開！世界最大の島が解き明かされる！？

企画展「未知なる大地 グリーンランドの自然と文化」

2014年9月4日より開幕！ 国立民族学博物館

国立民族学博物館(大阪府吹田市)では、企画展「未知なる大地 グリーンランドの自然と文化」を2014年9月4日(木)から11月18日(火)まで開催する運びとなりました。

本展では、本館収蔵品を中心に、北海道立北方民族博物館、高円宮コレクション、グリーンランド国立博物館、デンマーク王室ヘンリック・コレクションなどの収蔵品や映像・音響資料を用い、最新の研究成果とともに、グリーンランドの自然、そこに住むイヌイットの人びとの歴史と文化にせまります。

私たち日本人はグリーンランドの名前は知っているものの、自然や歴史、現状についてあまり知りません。本展示を通してグリーンランドとその文化について少しでも知る機会となり、関心を持っていただければ幸いです。

【展示概要】

○本展の見どころ

■日本初公開！高円宮コレクションとデンマーク王室ヘンリック・コレクション



日本初公開となる高円宮コレクションやデンマーク王室ヘンリック・コレクション、本館収蔵の日本民族学協会附属民族学博物館資料や植村直己寄贈資料などから展示します。日本民族学協会附属民族学博物館資料には、日本の文化人類学の父、岡正雄がデンマーク人類学界の大御所カイ・ビルケット＝スミスとの資料交換によって入手したグリーンランド資料が含まれています。



■グリーンランド国立博物館、デンマーク国立博物館との協働展示！

グリーンランド人自身が中心となって自らの文化の展示について企画・立案を行いました。彼らはキリスト教徒ですが、グリーンランド文化を象徴するものとして伝統的な世界観およびそれに関連するモノを選び、展示しています。

○展示構成

- (第1部) イヌイットの伝統的宗教世界について
- (第2部) グリーンランドの自然と人類の活動史
- (第3部) グリーンランドの伝統的文化とその変容
- (第4部) 現在のグリーンランドの文化



○主な展示資料(約 160 点)

高円宮コレクション	トゥピラク(彫像)	20 点
デンマーク王室ヘンリック・コレクション	仮面	6 点
本館収蔵の日本民族学協会附属民族学博物館資料、植村直己コレクションなど	生活用具など	110 点
グリーンランド国立博物館	ドラム	1 点
北海道立北方民族博物館	衣類、人形など	20 点
個人所蔵品	カヤック	1 点

【開催概要】

展示名	企画展「未知なる大地 グリーンランドの自然と文化」
会期	2014 年 9 月 4 日(木)～2014 年 11 月 18 日(火)
会場	国立民族学博物館(大阪府吹田市千里万博公園 10-1)企画展示場
開館時間	10:00～17:00(入館は 16:30 まで)
休館日	水曜日
無料観覧日	9 月 15 日(月・祝)、11 月 3 日(月・祝)、11 月 15 日(土)、11 月 16 日(日)
観覧料	一般 420 円(350 円)、高校・大学生 250 円(200 円)、小・中学生 110 円(90 円) ()は 20 名以上の団体料金/リピーターは団体料金を適用
主催	国立民族学博物館、読売新聞社
共催	グリーンランド国立博物館・文書館、デンマーク国立博物館
協賛	大日本印刷株式会社、サントリーホールディングス(株)、A. P. モラー・マースク AS
特別協力	グリーンランド政府、在日本デンマーク大使館
協力	北海道立北方民族博物館

【実行委員紹介】

岸上伸啓(国立民族学博物館 研究戦略センター・教授・副館長)

マッギル大学人類学科博士課程中退。早稲田大学文学部助手、北海道教育大学教育学部函館校専任講師、同大学助教授を歴任。1996 年より民博。カナダ・イヌイット社会やアラスカのイヌピアット社会における狩猟漁労活動、社会組織、食物分配および文化変化などについて研究している。

**齋藤玲子(国立民族学博物館 民族文化研究部・助教)**

北海道大学文学部行動科学科卒、北海道立北方民族博物館学芸員を経て、2011 年より民博。アイヌ民族をはじめ、カナダやアラスカなど北方の寒冷地にくらす先住民族の文化と歴史について広く研究している。

**Kasper Hansen キャスパー ハンセン(デンマーク大使館 政治・コミュニケーション担当官)**

在日本大使館ではデンマークからの要人の受入や日本政府との政治交渉、デンマークに関する広報を担当。本展では、デンマーク政府文化庁、デンマーク王室、グリーンランド政府との仲介役を担当。

Naja Rosing-Asvid ナヤ ローゼンガー・アスビド(グリーンランド国立博物館・公文書館 展示デザイナー)

グリーンランド出身。コペンハーゲンやオタワの美術学校でアートを学ぶ。今回のグリーンランド展の第 1 部の設計やデザインを担当している。

【関連催し物】**みんぱくゼミナール**

大西洋の北西部にあるグリーンランドは、世界最大の島です。総面積は日本の約6倍ですが、その80%は厚い氷床に覆われています。そこには全人口約57,000人のうち、およそ50,000人のイヌイット人が暮らしています。グリーンランドの大自然の姿、そこに住む人びとの歴史と現状について紹介します。

■タイトル「はるかなる北の大地、グリーンランドの自然と人びとの暮らし」

■10月18日(土)

■13時30分～15時00分

■講師 岸上伸啓(本館教授・副館長)

■本館 講堂

■申込不要(定員450名)

みんぱくウィークエンド・サロン

グリーンランドは北アメリカ大陸の北東沖にある世界最大の島です。その大半は氷河に覆われている氷の島ですが、名称は「緑の大地」です。なぜ、そのような名前がついたのでしょうか。同島における気候変動と文化の変化について紹介します。

■タイトル「グリーンランドの自然と文化」

■9月7日(日)

■14時30分～15時30分

■講師 岸上伸啓(本館教授・副館長)

■企画展示場

■申込不要(要展示観覧券)

その他**○ギャラリートーク**

実行委員によるギャラリートークを実施します。(予定)

○友の会講演会

■タイトル「第435回 極北の孤島グリーンランドにおける気候変動と文化の変遷」

■9月6日(土)

■14時～15時

■講師 岸上伸啓(本館教授・副館長)

○ワークショップ

グリーンランドの自然と文化、そしてトゥピラク(彫像)について概説した後に、展示場でトゥピラク(彫像)を見学する。それから各自が紙粘土を用いて、トゥピラク(彫像)を制作する。参加者全員で完成品について意見交換会を実施する。

■タイトル「グリーンランドの彫像トゥピラクを作ろう」

■9月7日(日)、10月25日(土)、11月2日(日)

■13時30分～16時30分

■講師 田主誠(版画家)、岸上伸啓(本館教授・副館長)

■第3セミナー室、企画展示場

■要事前申込、参加費500円(定員15名)、要展示観覧券

■対象 小学1年生以上

2014年企画展「未知なる大地 グリーンランドの自然と文化」
 広報用画像リスト



1. トゥピラク (彫像)
 (高円宮コレクション 赤阪友昭撮影)



2. トゥピラク (彫像)
 (国立民族学博物館)



3. 仮面
 (デンマーク王室ヘンリック・コレクション)



4. 防寒着 (アノラック)
 (国立民族学博物館)



5. 石彫像 (ドラマー)
 (国立民族学博物館)



6. 壁掛け (グリーンランドのライフ・サイクル)
 (国立民族学博物館)



7. 首都ヌークの街並み
 (国立民族学博物館)



8. グリーンランドの自然
 (国立民族学博物館)



9. グリーンランドのキャンプ地
 (国立民族学博物館)

これらの広報画像はデータにて提供可能です。

ご入り用の画像があれば、広報企画室広報係まで次頁申込用紙の内容をお知らせください。

2014年企画展「未知なる大地 グリーンランドの自然と文化」
広報用画像利用申込用紙

〔メールでお申し込みの場合〕 koho@idc.minpaku.ac.jp

〔FAXでお申し込みの場合〕 FAX 番号： 06-6875-0401

【ご希望の画像番号】

--

【貴社・貴機関についてお知らせください。】

貴社・貴機関名	媒体名
ご担当者名	所属部署
ご住所 〒	E-mail
電話番号	FAX 番号
ご掲載・放映の予定日が決まっている場合	
	年 月 日

【プレゼント用招待券申込み ご希望の場合は枚数をご記入ください。】

※チケット発送は8月を予定しております。

組 枚を希望します。

【広報に関するお願い】

- 掲載記事、番組内容について館の基本情報の確認のため、原稿等の校正を、FAXまたはメールにて、下記連絡先までお送りいただきますようお願いいたします。
- 写真使用に関するお願い、注意事項
 - ・クレジット表記は前頁画像リストの通りです。
 - ・写真（画像）のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。
 - ・写真の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- お手数ですが、掲載紙・誌または録画テープを3部お送りください。

【広報に関するお問い合わせ】

国立民族学博物館 広報企画室 広報係
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
TEL：06-6878-8560（直通）
FAX：06-6875-0401 MAIL：koho@idc.minpaku.ac.jp